

2022年8月1日

各位

川崎工場にて「カーボンニュートラル都市ガス」導入、CO₂排出量を大幅削減 ～カーボンニュートラル LNG バイヤーズアライアンスにも加盟～

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:田中 公章)は、8月1日より川崎工場(神奈川県川崎市)にて、東京ガス株式会社(以下、東京ガス)のカーボンニュートラル都市ガス^{※1}を導入するとともに、カーボンニュートラル LNG バイヤーズアライアンス^{※2}に加盟しました。

今回のエネルギー転換により、川崎工場でのCO₂排出量は2019年との比較で年間約4万トンの削減が見込まれており、エネルギー転換済みの事業所との総計では、全社で年間約12万トンのCO₂削減効果が得られる見込みです。

当社では、2021年度よりスタートした中期経営計画の全社戦略として『カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを実現する「ものづくり」への転換を推進する』を掲げ、2030年の目標としてCO₂排出量50%削減^{※3}の実現を目指しています。その重要な施策のひとつがエネルギー転換であり、2022年4月より複数の国内生産拠点において、再生可能エネルギーや証書付の燃料への転換を進めてきました。川崎工場では、エネルギーの生成元であるボイラー燃料の都市ガスをすべてカーボンニュートラル都市ガスに切り替えることで、CO₂排出量を大幅に削減できる見込みです。

当社は、引き続き安定・安全操業に努めながらカーボンニュートラルに対して積極的に取り組み、「持続可能な地球」と「安心して快適な人々の暮らし」に貢献してまいります。



カーボンニュートラル LNG
認証ロゴマーク

※1 カーボンニュートラル都市ガス:

採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、環境保全プロジェクトにより創出されたCO₂クレジットで相殺(カーボンオフセット)することにより、地球規模では燃焼させてもCO₂が発生しないとみなす液化天然ガス(カーボンニュートラル LNG)を原料とする都市ガス。

※2 カーボンニュートラル LNG バイヤーズアライアンス:

持続可能な社会の実現に向け、CNLを調達・供給する企業・法人が一丸となり、CNLの普及拡大とその利用価値向上の実現を目的として設立された団体。

※3 2030年にCO₂排出量50%削減:

2019年度比。日本ゼオン単体のScope1+2を対象とする。

カーボンニュートラル LNG&バイヤーズアライアンス Web サイト: <https://carbon-neutral-lng.jp/>

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室 電話:03-3216-2747